



# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党八千代市議団メール：[kyousan@jcp-yachiyo.jp](mailto:kyousan@jcp-yachiyo.jp)

日本共産党  
八千代市議団  
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>



第674号

2025年7月28日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

## 「服部市政3期目」東葉高速線の運賃値下げ実現は？

日本共産党は6月定例議会において、5月18日に行われた八千代市長選挙で3回目の当選を果たした服部市長に対し「運賃値下げに向けた戦略」について確認しました。

市の答弁は、市長が2期目から公約として掲げている通学定期の割引率拡大について「会社が複数パターンによる試算を開始しているところで、結果が秋以降に示されたら通学定期割引率拡大の実現に向けた判断の材料になるものと考えている」と、今年の議会答弁から何も進展していません。

### 市長は「運賃値下げ」の声をもっとアピールするべき

日本共産党は市長に「市民の代表として、もっと東葉高速鉄道の高すぎる運賃をアピールすることで根本的な問題である利払いの解決へ繋がる」と求めました。

八千代市が保有する東葉高速鉄道の持株比率は千葉県、船橋市について3番目、持ち株比率で約22.1パーセントです。資本金約626億円として八千代市民1人あたりの持株は約7万円になります。服部市長は、株主でもある八千代市民の代表として株主総会で「運賃値下げ」の声をもっと上げるべきです。

### 2024年度決算「利用者数・運賃収入も増加」しかし...

6月23日に東葉高速鉄道の2024年度決算が公表されました。年間輸送人員は前年度比3.8%の増加、旅客運輸収入も増加し、15期連続で、経常利益及び当期純利益を計上しています。

利益から全ての経費を差し引いた純利益は約33億6千万円と昨年度を上回っています。

東葉高速鉄道は純利益の一部を利用者へ還元することで運賃値下げを実現することが可能なのです。

しかし、2千億円を超える長期債務の大部分が有利子負債になっているために、今後の金利上昇等のリスクが足かせとなり、運賃値下げ実現の妨げになっています。一方で、後から開通した「つくばエクスプレス」は、建設事業費の大半が無利子で建設されていることから、東葉高速鉄道が抱える長期債務の利息は国の責任で負担するべきです。

日本共産党は引き続き、国や県、沿線自治体、そして東葉高速鉄道にたいして問題点を指摘し、運賃値下げ実現に向けて頑張ります。

東葉高速2024年度決算(前年度比較)

	2024年度	2023年度	増減
旅客運輸収入	15,853	15,293	560
経常利益	4,830	4,702	128
純利益	3,360	3,305	55
長期債務残高	214,327	220,000	△5,873

※単位:百万円(百万円未満を切り捨てた金額)